

令和 3 年 9 月の市民の声（全 7 通のうち 4 通）

◇医療用ウィッグの助成金について

【ご意見・ご提案など】

現在南魚沼市では医療用ウィッグの助成金制度は見当たらないのですが、市はどのように考えているのか教えてください。

私は乳がんで全摘出手術をし、これから抗がん剤治療を予定しています。その後復職を予定していますが、それに当たり医療用ウィッグは必須です。医療用ウィッグをオーダーしましたが、ケア用品も含めると 15 万円程です。乳がんで乳房を失うだけでなく、抗がん剤で髪も失うことになるうえ、感染面から休職も余儀なくされ、高額な医療用ウィッグも必要になりました。

ただでさえ生活が一変してしまい、これからどうなるのだろうと不安や悲しみが深い現状で、金銭的にも負担が多いことは何重もの苦しみとなります。

自分がこの立場になり、初めてこの制度の必要性を強く感じ、意見させてもらいました。

（令和 3 年 9 月 3 日）

【お返事】

医療用ウィッグの助成金制度は、現在、当市を含め、新潟県内の自治体では実施されていない状況です。

しかし、がんと共生を目指す社会においては、がん患者の方の就労や社会参加を支援するために、必要な制度の一つであると考えています。がんと闘いながらも、自分らしく生きることのできる共生社会の実現のために、検討を行ってまいります。

この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。

（担当：保健課）

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇南魚沼市図書館の学習席の利用方法について

【ご意見・ご提案など】

いつも南魚沼市立図書館を利用させていただいています。

とてもきれいな図書館で、周辺市町村にない施設だと思い、とても嬉しく思っています。

9月5日ですが、日曜日ということもあり、とても混んでいました。妻と隣同士で作業させていただきたく利用しました。しかし、学生等で学習席が多く埋まっており、偶然空いていた一番端の席で並んで使用させていただきました。その際に、私も近くの席を動かして利用したのは悪かったのですが、係員の方が2人で来て、席を動かすな、他の席に行けと注意を受けました。係員の方も仕事なので注意することは当然だと思いますし、私も席を動かしたことは、悪かったです。ちょうど休憩していたため、同じ作業をしていたこともわからなかったのだと思います。しかし、勉強ではなく、スマートフォンを操作したり、眠ったりしている学生で学習席が埋まっていた中、注意を受けたことは少々納得がいきません。大きく空いた席を無駄にしてそういった対応を取ることはいかがなものでしょうか？家族であれば近くに座ることも可能かと思えますし、近くの席を動かさないのであれば、そういった席やスペースを用意することは難しいのでしょうか？そういった手段を抜きにして出て行かせられたのは不当でないかと思うところもあります。寝ている学生はそのまま良く、席を動かしてしまった私が退去させられたのは行政としての平等に反するのではないかと思うところもあります。

コロナ対策で係員の方も大変だとは思いますが、利用しやすく、行きやすい図書館にさせていただきたく、連絡させていただきました。

(令和3年9月5日)

【お返事】

この度は図書館をご利用の際、職員の配慮が足りず、不快な思いをさせてしまい、深くお詫びいたします。

現在、図書館では新型コロナウイルス感染予防の観点から、

閲覧・学習席の数を減らし、間隔をあけて席を配置しています。しかしながら、利用者の中には席を移動して数人で話しているような場面が見られます。そのため、利用者の皆さんには、席を移動せずに間隔をあけた状態での利用をお願いしており、お声がけをさせていただきました。

他の席へのご移動をお願いするつもりでしたが、言葉が足りず、並んで利用できる席や開放していた学習室をご案内しなかったこと、大変申し訳ありませんでした。

皆さまが気持ちよくご利用いただけるよう、職員一同心掛けているところですが、ご指摘いただきましたことを真摯に受け止め、さらに館内の状況に注意を払い、図書館利用のマナーとサービス向上に努めてまいります。

(担当：図書センター)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇市報などの配布物について

【ご意見・ご提案など】

市報、配布物についてですが、ネット環境の普及、スマートフォンの普及により、市報等が南魚沼市のホームページで閲覧できるので、市報等の配布物を希望性にはどうかと言う意見が出ています。見ない人に見れば、ゴミになるという意見もありますので、各自治会に意見を聞いてご検討いただければと思います。市報等の経費削減、ゴミの削減にもつながると思います。

(令和3年9月7日)

【お返事】

市から行政区長様に依頼している市報やチラシなどの配布物については、これまでもさまざまなご意見をいただいています。

市で令和元年7月に実施しました「まちづくりに関するアンケート」結果によると、市政情報の入手先は「市報みなみ魚沼」と答えた方が約9割で、「市報みなみ魚沼を読んでいる」と答えた方が、9割以上でした。また、市政情報の入手先を「市ウェブサイト」と答えた方は22.5%で、前回の平成26年の調査と比較すると、6.8ポイント上昇しましたが、紙媒体の「市報みなみ魚沼」で情報を得ている市民が、まだまだ多いのが現状です。

市では、できるだけ配布物を減らすため、個別のチラシを極力削減し、市報に記事を集約するなどの取組を行っていますが、市以外の団体などが作成する広報紙やチラシなども多く、これら全ての配布物を電子化し、ウェブサイトに掲載することは難しいのが現状です。

いただきましたご意見は、市として、今後目指すべき方向性の一つであると考えており、参考とさせていただきます。この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

(担当：秘書広報課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇坂戸山のサルについて

【ご意見・ご提案など】

坂戸山に住む猿軍団(20匹程度)に、非常に危険を感じています。年に10回程度、坂戸山を登っていますが初めての経験でした。登山客の安全も考え、駆除等対策をご検討ください。

当日の詳細は以下の通りです。

- ・カタクリの群生地あたりから上をみるとサルが1匹いるのを発見
- ・集団でないと思い進んでいたら、20匹程度のサルが現れる
- ・そのうちの一番大きいサル(ボスサル)がダッシュで走ってきて牙をむき出しにしてくる
- ・他のサルも同様に取り囲む

その後、

- ・持っていたポールで音を出したり、石を投げたりで何とか応戦
- ・ちょうどもう一人登山者が登ってきて、石などで威嚇してくれる
- ・そののち、サル軍団は立ち去るが、登っていく途中で振り向くとボスサルが再度こちらに向かってくる
- ・再度石を投げて追い払う

(令和3年9月21日)

【お返事】

情報をいただいた後、出沒した現場付近を確認しましたが、サルの群れは常に移動していることもあり、発見することはできませんでした。

出沒した場所は、本来、サルの生息域であること、またサルの群れは常に移動していることから、坂戸山で緊急的な捕獲などの対策は行いませんが、登山者に注意を促すため、出

没注意の看板を設置して注意喚起を行ってまいります。

(担当：環境交通課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658